

一般社団法人熊本市医師会

平成30年度 事業報告

## I 法人の概要

### 1. 設立年月日

昭和22年11月13日

平成25年4月1日（一般社団法人へ移行）

### 2. 定款に定める目的

本社団法人は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- ①医道の高揚に関する事項
- ②医学教育の向上に関する事項
- ③医師の生涯教育に関する事項
- ④医学、医療の国際交流に関する事項
- ⑤公衆衛生の啓発指導に関する事項
- ⑥地域医療の推進発展に関する事項
- ⑦地域保健の向上に関する事項
- ⑧保険医療の充実に関する事項
- ⑨医療施設の整備に関する事項
- ⑩会員の相互扶助に関する事項
- ⑪医療経営の安定、会員の福祉向上による市県民の健康及び福祉の増進に関する事項
- ⑫医師会相互の連絡調整に関する事項
- ⑬看護師、准看護師その他の医療従事者の養成及び生涯教育に関する事項
- ⑭熊本市医師会看護専門学校の運営に関する事項
- ⑮熊本市医師会熊本地域医療センター（医師会病院、検査センター、ヘルスケアセンター、在宅ケアセンター）の運営に関する事項
- ⑯その他本会の目的を達成するために必要な事項

### 4. 所管官庁に関する事項

熊本県健康福祉部医療政策課

### 5. 会員の状況

区分	当期末	前期末比増減
A会員（開業医師）	570名	+6名
B会員（勤務医師）	805名	+20名
C会員	52名	+1名
合計	1,427名	+27名

### 6. 主たる事務所

熊本県熊本市中央区本荘3丁目3番3号

7. 役員に関する事項

31年3月31日現在

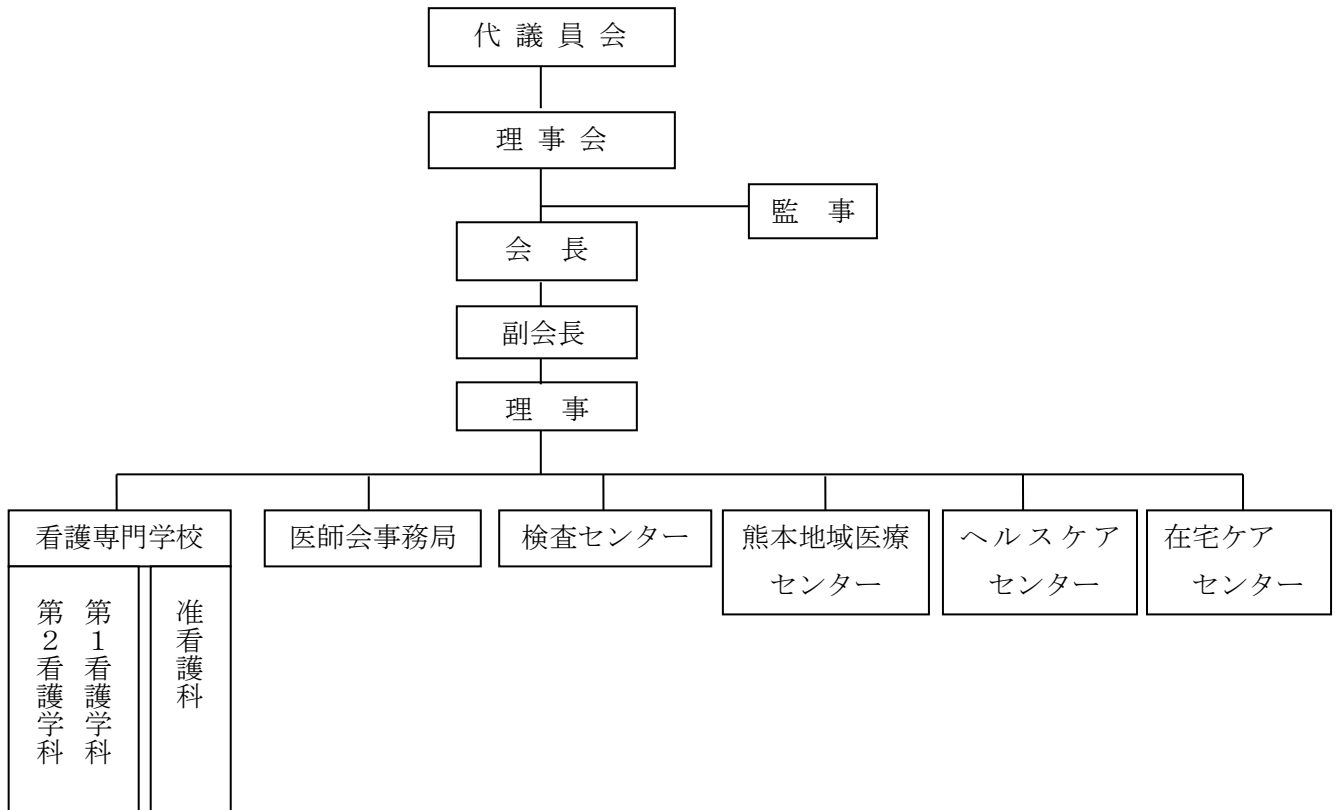
役職	氏名	主たる担当職務
会長	園田 寛	
副会長	宮村健一郎	総務、検査センター全般、学校検診
副会長	濱田 泰之	総務(学術・勤務医部)、看護専門学校長、ヘルスケアセンター
副会長	田中 英一	総務(医師会病院建設・地域包括ケアシステム・在宅医療)、 医師会病院全般、在宅ケアセンター全般
理事	緒方 武幸	会計
理事	前田 篤志	医師会病院庶務
理事	宮本 大典	会員福祉、介護保険、救急・災害医療
理事	井 重博	庶務、准看護科
理事	家村昭日朗	保険、検査センター庶務
理事	田嶋 哲	医療情報、看護専門学校会計、第2看護学科
理事	豊田 徳明	医師会病院会計
理事	魚返 英寛	学術、看護専門学校庶務、第1看護学科
理事	野津原 昭	地域医療、地域包括ケアシステム、在宅医療
理事	高群 博之	勤務医部、ヘルスケアセンター会計
理事	柏木 孝史	検査センター会計、学校検診
理事	杉野 茂人	学校保健、医師会病院建設
理事	冬田 修平	在宅ケアセンター庶務
理事	宇野 正志	広報、国際交流
理事	清原 英雄	社会福祉
理事	緒方 一朗	ヘルスケアセンター庶務、在宅ケアセンター会計
監事	関 義憲	
監事	戸山 忠良	
監事	大山 勝郎	

8. 職員に関する事項

31年3月31日現在

部署	正規職員		嘱託職員		臨時・パート・非常勤		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
法人事務局	6	7	2	1		2	8	10	18
看護専門学校	2	30	2	3		5	4	38	42
検査センター	14	28	2		6	40	22	68	90
病院	96	272	4		13	44	113	316	429
ヘルスケアセンター	13	13	5		6	20	24	33	57
在宅ケアセンター	3	7		1		22	3	30	33
合計	134	357	15	5	25	133	174	495	669
	491		20		158		669		

9. 組織図



10. 施設の設置状況

施設の名称	所在地
熊本市医師会事務局	熊本市中央区本荘3丁目3番3号
看護専門学校	熊本市中央区本荘3丁目3番3号
検査センター	熊本市中央区本荘5丁目15番12号
熊本地域医療センター(病院)	熊本市中央区本荘5丁目16番10号
ヘルスケアセンター	熊本市中央区本荘5丁目15番12号
在宅ケアセンター 訪問看護ステーション 訪問介護ステーション 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	熊本市中央区本荘5丁目16番10号    熊本市中央区本荘4丁目1番3号

11. 許認可に関する事項

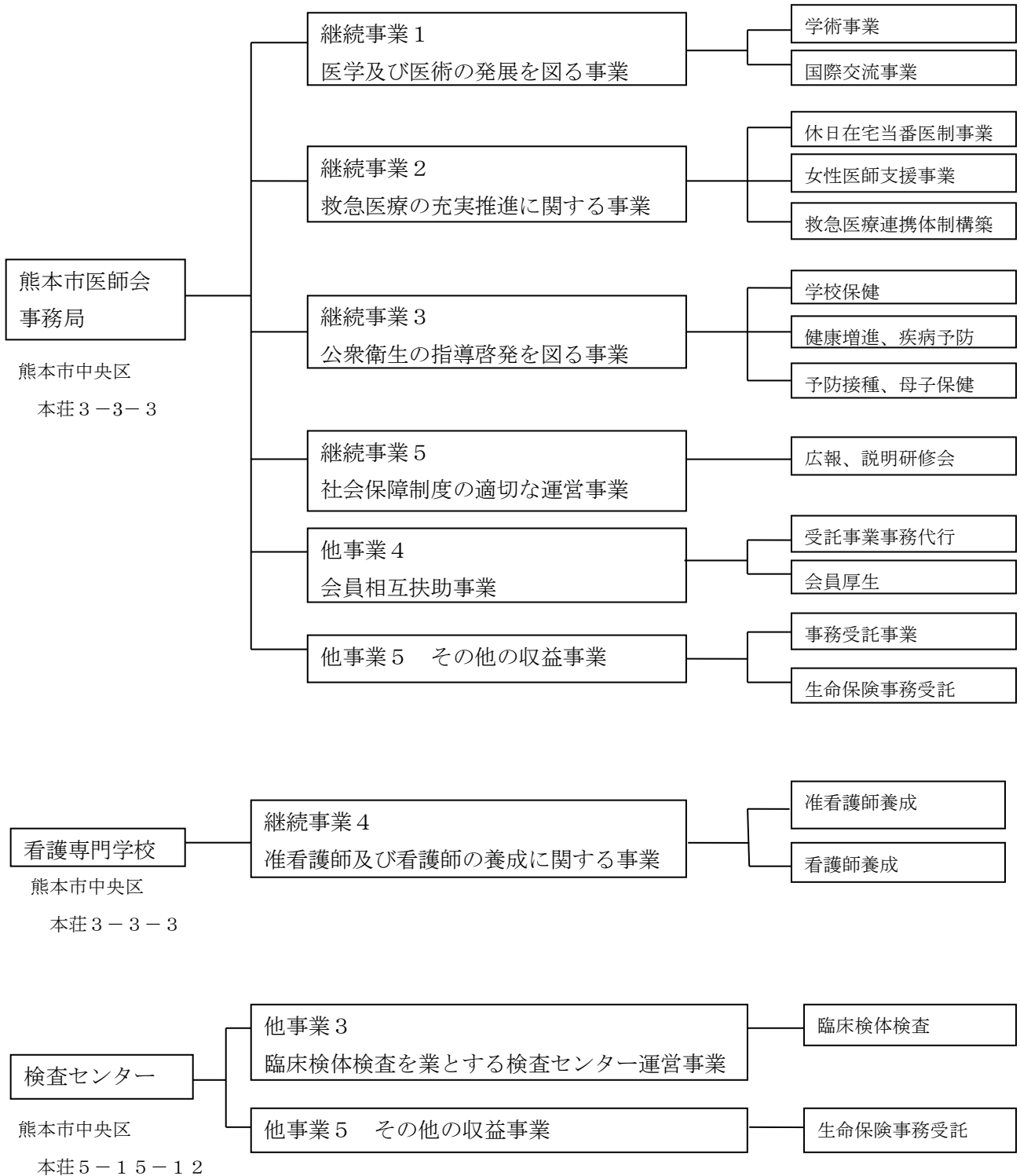
なし

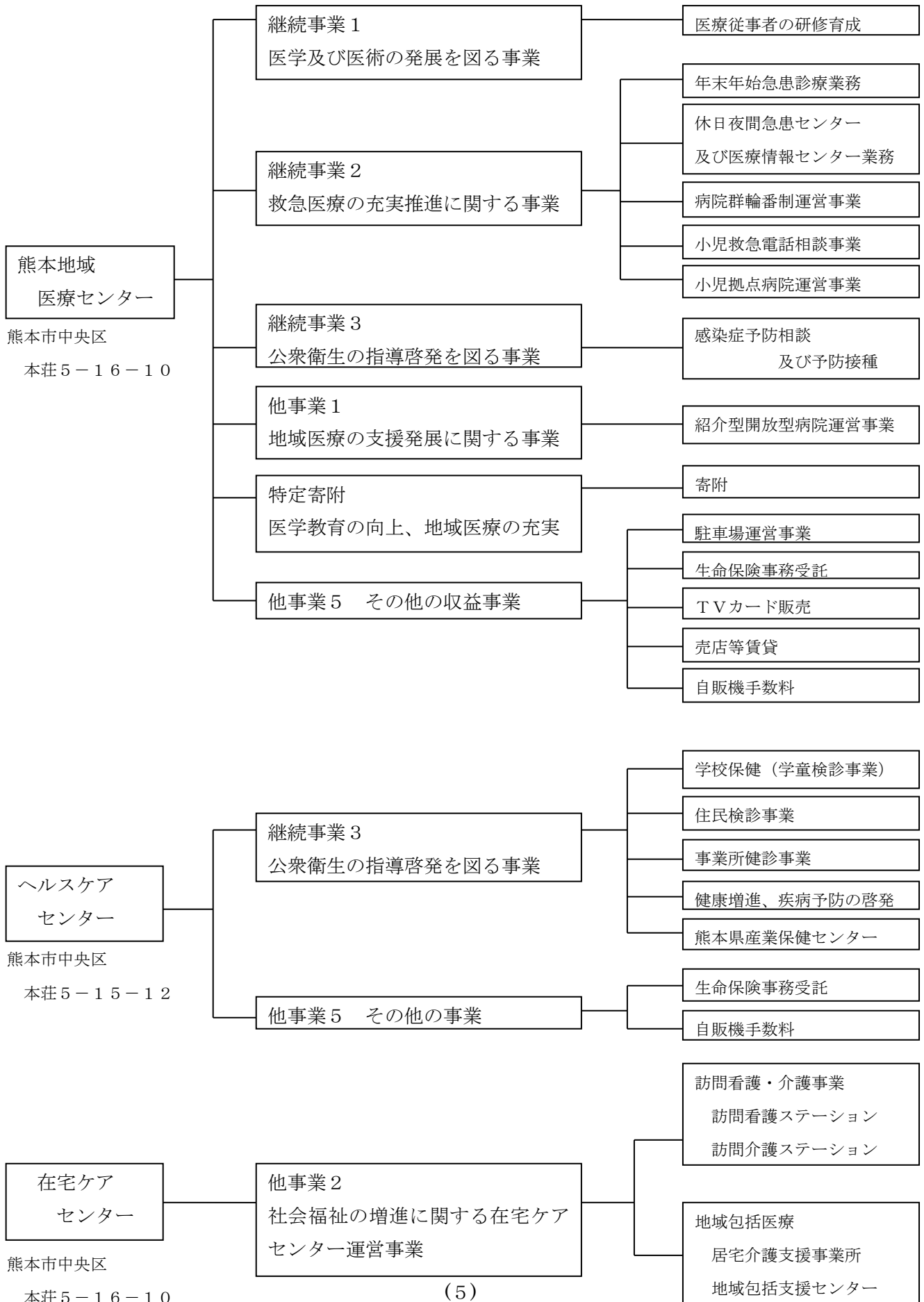
## II 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

本社団法人は、定款第3条の目的を達成するために努力し、定款第4条に掲げる事業を実施している。

#### (1) 事業・組織体系図





## (2) 事業の概要

### [継続事業1] 医学及び医術の発展を図る事業

日進月歩の医療において学術の振興を図り安全で質の高い医療を提供していくためには、生涯教育の推進は欠かすことのできないものであり、これを達成するために学術委員会、生涯教育委員会を設置して時宜を得た学術講演会や勉強会等を企画・開催するとともに、関係機関と協力連携のうに各種講演会・研修会を共催している。また、熊本地域医療センターは地域医療支援病院の指定を受けているが、開設当初より医療従事者生涯教育の実習研修する場として開放し、医療従事者の指導育成に努めている。

#### 1) 学術事業

学術委員会の開催	平成31年3月 1日 (金)
生涯教育委員会の開催	平成30年6月11日 (月)
日医生涯教育講座の打合せ	平成30年6月 5日 (火)
講演会、勉強会の開催	
・学術講演会	5回開催 (4、9、10、1、2月)。出席者297名
・熊本地域医療センター勉強会	9回開催 (4、5、6、7、10、11、1、2、3)。出席者233名
・共催後援の講演会	78回開催。そのうち当法人会館で6回開催。
・講演会、研修会等会場の提供	次のとおり講演会、研修会等会場の利用に供した。
相 手	熊本大学医学部27回、専門医会12回、医専連3回、医師会員20回 行政他44回
提供施設	講堂30回、研修室94回
提 供 日	平日78回、土曜日23回、日曜日5回

#### 2) 国際交流事業 (米国サンアントニオ市ベア郡医師会との交流)

- ・国際交流委員会の開催 平成30年6月6日 (水)、9月6日 (木)  
平成31年2月14日 (木)
- ・熊本市・米国サンアントニオ市姉妹都市締結30周年事業への参加  
米国サンアントニオ市で行われたレセプションに国際交流委員3名が参加した。  
平成30年5月2日(水)~3日(木)
  - ・姉妹都市締結30周年セレモニー及びレセプション
  - ・ベア郡医師会長表敬訪問
  - ・サンアントニオ市制300周年レセプション

#### 3) 医療従事者への研修育成事業

平成30年度は、次のとおり実施した。

##### ア 医療従事者への研修

場所 熊本市医師会熊本地域医療センター (医師会病院)

医師5名 後期研修1名、くまもと森都総合病院臨床研修1名、超音波検査技術の習得2名、気管支鏡検査技術の習得1名

看護師3名 消化器内視鏡検査の介助等

准看護師8名 下部消化器内視鏡検査の介助等

臨床検査技師4名 超音波検査技術の習得

医学生・看護学生等の実習

医学部学生196名 (放射線科、麻酔科、呼吸器内科、小児科)、薬学部学生7名、看護学生176名、診療放射線技師専攻学生14名、救急救命士専攻学生6名、理学療法士専攻学生8名、作業療法士専攻学生2名、言語聴覚士専攻学生4名、臨床工学技士専攻学生7名、診療情報管理士専攻学生1名、その他9名

医療現場の見学、生理機能検査室・内視鏡検査室・一般病棟・緩和ケア病棟・休日夜間急患センターの見学

イ 指導者としての自己研鑽

学会名	発表演題
第59回 日本肺癌学会九州支部学術集会	EGFR-TKI治療中のRECSIT-PD時にbevacizumabを追加した全例にdiseasecontrolが得られた肺腺癌9例の検討
第59回 日本肺癌学会九州支部学術集会	薬剤性肺傷害に対するステロイド治療によってペンブロリズマブの二次性副腎不全がマスクされた非小細胞肺癌の一例
第58回 日本呼吸器学会学術講演会	COPD患者におけるアレルギー感作状況の検討
第58回 日本呼吸器学会学術講演会	細胞傷害性抗癌剤による薬剤性肺臓炎後に、抗癌剤を再投与した進行非小細胞肺癌の予後
第82回 日本呼吸器学会日本結核病学会九州支部 春季学術講演会	Erlotinib治療で病勢コントロールが得られたEGFR遺伝子変異陽性限局型小細胞肺癌の一例
3rd International Conference on Hepatobiliary & Pancreatic Disorders	Role of Autophagy in the Development of Acute Pancreatitis
第56回 日本糖尿病学会九州地方会	SGLT2阻害剤使用後に診断されたバセドウ病の一例
第32回 日本小児救急医学会学術集会	期限切れのホットケーキ粉でアナフィラキシーを起こした Oral mite anaphylaxisの一例
第18回 九州沖縄小児救急医学研究会	軽微な頭部外傷後に複雑部分発作重積状態を呈した一症例
第16回 日本臨床腫瘍学会学術集会	根治的放射線治療後に再発した切除不能 I 期非小細胞肺癌患者の後治療と予後
JDDW 2018 KOBE	粘表皮癌2例を含む膵の腺扁平上皮癌自験例5例の検討
第67回 日本アレルギー学会学術大会	発症状況別にみた魚アレルギー児の臨床経過報告
第26回 日本乳癌学会学術総会	肥満と年齢の関係について
第41回 筑豊感染症懇話会 第299回筑豊小児科医会勉強会	臨床の場から見たワクチンによる小児の重症感染症予防～ワクチン導入のインパクトから重篤な副反応まで～
第118回 日本外科学会定期学術集会	胆道癌取り扱い規約第6版におけるN因子の転移個数による細分化の意義の検討



第32回 日本核医学技術大会九州地方会学術大会	99mTc-GSA肝受容体シンチグラフィにおける SUV算出による肝予備能評価の試み
第32回 日本核医学技術大会九州地方会学術大会	I-123線条体SPECTにおけるChang法の 適正な減弱補正のための基礎的検討

[継続事業2] 救急医療の充実推進発展に関する事業

地域住民の生命と健康を守るため、急病患者の医療の確保と重症救急患者の医療を確保することを目的に、外傷や疾病の緊急の診断と治療を必要とする患者に対して適切な診療を提供する拠点として熊本地域医療センターを開設し、24時間初期救急医療体制の休日夜間急患センター業務と二次救急の病院群輪番制病院業務を行っている。

尚、休日夜間急患業務との併用で医療情報の電話相談も行き、更に小児救急医療体制の補強として、小児患者の症状に応じた適切な医療を提供する体制を採っている。また、地域の医師不足による救急医療や地域医療体制の崩壊を防止するため、特に女性医師の就業継続ができる環境整備に対する支援等を行っている。

1) 休日在宅当番医制事業及び年末年始急患診療業務

ア 休日在宅当番医制事業 769施設、受診者35,329名

イ 年末年始急患診療業務 (平成30年12月30日～31年1月4日午前8時まで)  
在宅医実施医療機関 56施設 受診者6,641名 (二次病院搬送10名)  
熊本地域医療センター 1,972名 (入院14名)

2) 休日夜間急患センター事業及び医療情報センター業務

実施施設：熊本地域医療センター (内科、小児科、外科)

平日午後6時～翌日午前8時、 休日午前8時～翌日午前8時

受診者：29,970名

医療情報センター取扱い件数7,118件

(市民7,025、医療機関73、救急隊19、その他1)

3) 病院群輪番制運営事業

実施施設：熊本地域医療センター

受診者：1,812名 (熊本市1,440、市外325、県外47)

三次病院への転送56名

4) 小児救急電話相談事業

実施施設：熊本地域医療センター、毎日 午後7時～午後11時

相談料：無料

相談件数：12,372件

5) 小児拠点病院運営事業

熊本地域医療センターは、小児救急医療の第二次救急医療施設の拠点病院として、休日夜間救急センター、在宅当番医制等の初期救急医療施設及び小児救急患者の搬送機関との円滑な連携体制のもとに、休日及び夜間における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を提供している。

## 6) 女性医師支援事業

女性医師が働きやすい環境の整備を以て医師不足の防止を図り医療の崩壊を回避することを目的とし、医師会館内に一時預かり保育所「メディッコクラブ」を設置している。また、熊本県委託の熊本県女性医師キャリア支援センター事業の一環として、講演会等参加時の一時保育事業を行っている。

### ・保育所の利用者

女性医師延べ331名、児童延べ471名。

### ・熊本県女性医師キャリア支援センターの業務及び利用者

県内の女性医師に対し、講演会及び学会等参加時の一時保育を行った。また、保育・育児等に関する相談等に対応した。

#### ア ・無料託児利用状況

利用日数 74日、女性医師 延べ98名、児童 延べ184名

#### イ 広報

主催者へ講演会等開催時の無料託児所について案内し、案内状への無料託児掲載依頼を行った。

女性医師支援事業案内のチラシを作成し、熊本市医師会員全員に案内した。

#### ウ 相談対応

来所相談 女性医師1名、医薬品メーカー1名

電話相談 男性 27名（勤務医7名、開業医2名、その他18名）

女性137名（勤務医115名、開業医4名、その他18名）

#### エ 講演会の開催

・「平成30年度熊本県医療人キャリアサポートクローバーセミナー」（共催）

平成30年12月18日 出席者54名（うち女性医師11名）

#### オ 熊本県女性医師キャリア支援連絡会議（熊本県主催）

平成31年1月17日 於県庁

議題 ①各構成団体における女性医師支援に係る取組状況及び今後の方向性について

②女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業について

③平成31年度における女性医師キャリア支援連絡会議の運営方法について

## 7) 救急医療連携体制の構築

救急医療懇談会 平成31年2月7日（木）

出席者59名 熊本市医師会8名、救急告示医療機関20名、公的病院救急部門7名、熊本市消防局20名、熊本県警察本部1名、熊本市健康福祉局3名

議題 ①平成29年度熊本市医師会救急医療実績報告について

②平成30年熊本市消防局救急統計について

意見交換

### [継続事業3] 公衆衛生の指導啓発を図る事業

地域住民の健康の保持と増進を目的として、急速な高齢化の進展や保健医療を取り巻く環境の変化に対応した地域における公衆衛生の向上を目指し、地域自治体と一体となった保健活動を展開して健診事業・検診結果の共有等を行っている。その中核となるヘルスケアセンターは、健診事業ごとに専門医からなる委員会を置いて健診の精度、データの一元管理、課題等調査分析を行い健診事業の充実に努めるとともに、集積・分析したデータは、地元の医師への情報提供、学会や研修会等の発表資料、あるいは地域住民に対する健康増進への意識を高める啓蒙活動等に供している。

## 1) 学校保健

### ア 学校医の推薦

熊本市教育委員会へ40名（内科3、眼科21、耳鼻科16）を推薦

熊本県医師会へ7名（眼科4、耳鼻科3）を推薦

### イ 学童検診の実施

#### ・学校心臓検診

対象 熊本市立小学校、中学校、私立中学校、熊本市立高等学校、熊本県立高等学校、私立高等学校のうち、小学校1年・4年、中・高校1年生及び養護教諭から検査要請のあった他学年

第1次検診 平成30年4月10日～6月11日

第2次検診 4月14日～7月21日

実績153校、実施数23,713名、精検受診者数831名、追跡58名

#### ・学校腎臓検診（検尿）

対象 熊本市立幼稚園、熊本市立小・中学校、熊本市立高校・市立専門学校、私立幼稚園・保育園等

第1次検診 平成30年4月16日～5月31日

第2次検診 5月1日～6月14日

第3次検診 5月24日～7月5日

実績144校、第1次61,870名、第2次1,895名、第3次172名

#### ・学童結核検診

問診調査票と学校医の内科健診の所見に基づき、ヘルスケアセンターでX線デジタル撮影と喀痰検査を実施。

実績 胸部X線 小学校1名、中学校0名の計1名

#### ・肥満児等調査及び小児生活習慣病予防検診

全市内小学校4年生で肥満度20%以上の児童を対象にして希望者に予防検診を実施。また、予防検診の有所見者へのフォローとして、保護者や養護教諭を対象に医師、栄養教諭、理学療法士による説明会を実施し、事後指導にも努めている。

実態調査 小・中学校合計調査数60,122名 うち20%以上4,791名

小学校 41,045名 20%以上3,280名

中学校 19,077名 20%以上1,511名

小児生活習慣病予防検診受診者数 346名 うち有所見者数155名

要指導76名、要精密検査・加療79名、異常なし190名、判定不能1名

小児生活習慣病予防検診説明会開催 平成31年3月2日(土)

#### ・脊柱側弯症検診

児童生徒の内科健診時に学校医が小学校5年生と中学校1年生に対して重点的に脊柱の検診を行うとともに、ヘルスケアセンター設置の整形外科の専門医が、選定された学校の児童生徒内科健診の時に視診・触診を行い、学校医と専門医の検診で抽出された要精密検査の児童生徒は、予め登録指定された専門医療機関で精密検査を受診する検診体制を採っている。

対象者 小学校5年生6,928名、中学校1年生6,131名 計13,059名

要精検者 小学校5年生207名 中学校1年生100名 計307名

2次検診（精密検査）受診者数208名

精密検査結果：208名（側弯症44名、側弯症の疑い101名、その他0名、異常なし63名）

小学校5年生136名（側弯症29名、側弯症の疑い69名、

その他0名、異常なし38名）

中学校1年生72名（側弯症15名、側弯症の疑い32名、  
その他0名、異常なし25名）

・就学時健康診断

実施期間 平成30年10月1日～平成31年3月31日

実施者数 内科6,144名、眼科6,505名

ウ 学校教職員健康診断の実施

熊本市の小学校72校・中学校34校の教職員1,962名の健康診断を実施。

2) 住民検診

検診の意義である早期発見・早期治療を達成するために各種検診ごとに専門医からなる読影班委員会を置き、精度管理と検診のフォローに意を注ぎ、個別検診の実施医療機関は登録制による指定を行うとともに各種検診の要精密検診者の受診勧奨に努めている。

ア 特定健診・特定保健指導：個別（施設）健診

特定健診のソフトを開発して実施医療機関に提供し、健診データの一元管理を行い健診事業の円滑な実施を図っている。

健診実績36,980件

特定保健指導：初回実施338件、評価実施266件

イ 胃がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診

受診者1,925名、要精検者154名、精検受診者138名（89.6%）、がん1名（発見率0.05%）

ウ 子宮頸がん検診：医療機関による個別検診

頸部のみ受診者8,630名、要精検者366名、精検受診者261名（71.3%）、がん4名（発見率0.05%）、がん疑い161名

エ 乳がん検診：医療機関による個別検診

受診者8,385名、要精検者903名、精検受診者716名（79.3%）、がん28名（発見率0.33%）、がん疑い1名

オ 肺がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診

受診者7,823名、要精検者131名、精検受診者119名（90.8%）、がん5名（発見率0.06%）、がん疑い2名

カ 大腸がん検診

検診車による巡回検診（検診地域は肺がん検診地域と同じ）と個別検診の併用で実施  
受診者9,396名、要精検者967名、精検受診者705名（72.9%）、がん27名（発見率0.38%）早期がん13名、進行がん14名

3) 事業所健診

近年の急速な高齢化の進展、産業構造の変化、技術革新の進展等労働者を取巻く環境が大きく変化するなかで労働者の健康問題への関心は高まっており、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施して受診者には保健指導を行うなど労働衛生の向上に努めている。

特定健診	6事業所	17名
一般健康診断（定期、採用時）	1,129事業所	9,470名
成人病予防検診（協会けんぽ、共済、一般）	1,542事業所	7,702名
精密検診（再検）	5事業所	44名
出張健診（定期等）	112事業所	18,151名
検診車による胸部検診	171事業所	11,960名
〃 胃部検診	35事業所	1,173名
検体検査・生理機能等		1,181名

#### 4) 健康増進、疾病予防の啓発

##### ア 市民への情報提供

熊本市民の疾病予防と健康の維持増進を図ることを目的に、保健衛生全般にわたる市民の意識の向上と啓発に努めている。

##### ・平成30年度市民講座・医専連シンポジウム

日 時 平成30年10月13日(土) 14時

場 所 熊本市医師会館 2階講堂

受講料 無料

テーマ 「地域における小児療育にもとめられること」

～言語発達に関わるそれぞれの立場から～

##### 第1部 基調講演

演題 「子どもが元気になるハビリテーション」

講師 医師/おがた小児科内科医院 理事長 緒方健一 先生

##### 第2部 シンポジウム

発表① 「地域における小児療育にもとめられること～歯科医師の立場から～」

歯科医師/熊本市中央区役所保健子ども課課長補佐 吉良直子 先生

発表② 「発達の特徴を活かして生きる～養成校の教員の立場から～」

言語聴覚士/熊本保健科学大学言語聴覚学専攻准教授 井崎基博 氏

発表③ 「こどものことばが育つということの意味を考える

～子どもとかかわる人々の役割～」

言語聴覚士/指定障害児通所支援事業所 まいすてっぷ Kids

管理者 丸内春美 氏

発表④ 「保護者の子育てを支える支援者の役割」

言語聴覚士/一般社団法人 ゆこり 代表理事 下田祐輝 氏

来場者数 283名

##### ・広報 TV番組「医療大百科」

核家族化や高齢化社会を背景に直面する医療問題、あるいは文化生活の向上と共に健康意識の高揚が求められる中、住民の疾病予防や健康増進の意識啓発に寄与することを目的に、医療に対する基礎知識から最新医療の情報を広く住民に提供している。

TKUテレビ熊本 月曜 11:20～11:25

平成30年4月2日から平成31年3月25日まで52回放映

##### ・熊本地域医療センター市民公開講座

熊本地域医療センターは、平成23年11月7日付で熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定された。「がん」という生死にかかわる病を前にして患者や家族そして医師がどうあるべきか、がんの告知や治療等の選択など、がん診療の拠点病院としての責務により多くの人と「がん」という病を考えていくために、市民を対象とした講座を開催してがんの診療を中心にした医学及び医療について市民に広く啓蒙している。

日 時 平成31年1月26日(土) 14:00～

場 所 熊本地域医療センター 新館6階ホール

テーマ 知っておきたい呼吸器の病気

参加者 145名

##### イ 医療専門団体と連携した市民に対する健康意識の啓発

地域の包括医療を推進するために医療専門団体からなる熊本市保健医療専門団体連合会(以下「医専連」という。)を結成しており、医専連は、各医療専門団体相互の連携を深め、熊本市圏の地域医療のシステム化推進の母体となって地域医療の水準の向上と充実を図り、地域住民の健康と福祉を充実することを目的としている。現在、医専連は15の医療専門

団体（熊本市医師会、熊本市歯科医師会、熊本市薬剤師会、熊本県助産師会、熊本県看護協会、熊本県栄養士会、熊本県放射線技師会、熊本県臨床衛生検査技師会、熊本県歯科衛生士会、熊本県理学療法士協会、熊本県作業療法士会、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、熊本市歯科技工士会、熊本県臨床工学技士会、熊本県言語聴覚士会）からなっており、その活動は熊本市民健康フェスティバル等市民に対する健康意識の啓発など多岐にわたっている。

・熊本市民健康フェスティバルの開催

医専連各団体の相互理解・連携のもとに熊本市民の健康教育の一環として、市民の「見て、触れて、考える」という健康意識の啓発を図る場である健康フェスティバルを企画した。医専連各団体が一堂に会し、歯科相談・薬の相談や血圧測定・リハビリ・在宅ケア等夫々のコーナーを設けて、医専連各団体が専門分野毎のコーナーで市民等来場者に対応している。

期 日 平成30年10月21日（日）

場 所 熊本市総合体育館

入 場 無料

来場者 延べ9,359名

・ラジオ番組「健康サロン」

住民に医師をはじめとする夫々の医療専門職に係わる医療のあり方等を理解していただき、疾病予防や健康増進に役立たせる企画で、医専連各団体との連携のもとに住民が関心を持っている問題や医療に関するトピックス等を話題として、ラジオで地域の医師や医専連各団体の医療専門職が解りやすく話している。

ラジオ番組：熊本シティエフエム「健康サロン」

放 送：毎週水曜日午後2時から15分間、年間52回

出演者：医師8回、歯科医師8回、薬剤師8回、助産師2回、看護師5回、  
栄養士2回、放射線技師2回、臨床検査技師3回、歯科衛生士2回、理学療法士2回、作業療法士2回、医療ソーシャルワーカー2回、歯科技工士2回、  
臨床工学技士2回、言語聴覚士2回

5) 感染症予防の相談及び予防接種の実施

予防接種要注意者等が安心して予防接種が受けられる体制を整備して予防接種の向上と予防接種による健康被害発生防止に万全を期すため、熊本県から委託を受けて当法人は地域医療センターで熊本県予防接種センターを開設している。県民からの予防接種の副反応や感染症予防に関する相談、あるいはハイリスク者（予防接種要注意者）、海外渡航者への予防接種等を実施している。また医療機関からの相談等にも応じており、予防接種に対する県民の不安感を取り除いている。

平成30年度接種者

ハイリスク者 511人、海外渡航者524人、その他71人、計1,106人

6) 熊本県熊本地域産業保健センターの設置

熊本労働基準監督署管内の事業場における労働者の健康確保と労働衛生管理体制及び健康確保対策の充実強化を図っている。産業保健センターは、相談窓口を設置して地域の医師の協力のもとに、労働者に対する①健康診断に基づく医師からの意見聴取②脳・心臓疾患のリスクが高い労働者に対する保健指導③メンタルヘルス不調の労働者に対する相談及び指導④長時間労働者に対する面接指導、と事業者に対しての作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策等の労働衛生対策に関する相談に対応し個別に事業場を訪問しての産業保健の指導を行っている。また、日本医師会認定産業医名簿・熊本県作業環境測定機関名簿・熊本県労

働者健康保持推進サービス機関名簿を作成し、産業保健に関する情報を提供している。

健康相談事業対象地域：熊本市、上益城郡、下益城郡、宇土地区の4地域

実績：相談窓口開設回数135回、相談件数1,182件

個別訪問産業保健指導実施回数63回

(熊本市35、上益城郡9、下益城郡9、宇土地区10)

#### 7) 予防接種、母子保健等の充実向上

市民の健康の保持と増進を目的とする予防接種事業や母子保健事業を達成するため、熊本市と連携協力して地域住民の利便性等考慮した事業体制の構築を図り事業の円滑な実施と普及に努めている。

予防接種273,475名、乳児健診12,748名、妊婦健診64,443名、

三歳児視聴覚精密健診：眼科602名、耳鼻科181名、肝炎ウイルス検査2,306名、  
風しん抗体検査1,828名

#### [継続事業4] 准看護師及び看護師の養成に関する事業

急速な高齢化の進展及び保健医療を取り巻く環境等の変化に伴い看護師等の確保の重要性が著しく増大している。看護師の資質を向上し、医療及び公衆衛生の普及向上を図ることが求められる中において、看護師養成における人材育成が、社会の期待に応え更に一層の発展を図るためには、看護実践能力の向上と看護職としての社会的責任並びに国民の要望に対応した看護の質の向上が不可欠であり、生命の尊厳と高い倫理観に基づいた豊かな人間性と、必要な基礎知識、技術を教授し、保健医療福祉活動に貢献しうる質の高い看護実践者の育成につとめている。

##### ア 看護師養成事業

###### －医療専門課程－

第1看護学科 修業年限3年、1学年定員40名（総定員120名）

・第8回生入学式 平成30年4月4日

新入生43名(うち男性3名)

[受験者160名(20)、合格者50名(3)、競争率3.2]

・1年生 歓迎会 平成30年4月 5日

・" 親睦会(熊本城) 平成30年4月13日

・第7回宣誓式 平成31年1月9日(2年生42名)

・入学試験

高校推薦・社会人(第9回生)入学試験 平成30年11月 4日

一般(第9回生)入学試験(前期) 平成30年12月 2日

一般(第9回生)入学試験(後期) 平成31年 2月24日

・第6回生卒業式(卒業証書授与43名) 平成31年 3月 6日

第2看護学科 修業年限3年、1学年定員40名（総定員120名）

・第44回生入学式 平成30年 4月 4日

新入生43名(うち男性6名)(受験者89名、合格者43名、競争率2.1)

・入学試験

推薦(第45回生)入学試験 平成30年10月14日

一般(第45回生)入学試験 平成30年11月25日

・第42回生卒業式(卒業証書授与39名) 平成31年 3月 6日

・第108回看護師国家試験(福岡市) 平成31年 2月17日

第1看護学科 第6回生43名受験 全員合格 合格率100%(全国89.3%)

第2看護学科 第42回生39名受験 全員合格 合格率100%(全国89.3%)

イ 准看護師養成事業

一医療高等課程一

准看護科 修業年限2年、1学年定員120名(総定員240名)

- ・第66回生入学式 平成30年 4月 4日  
新入生118名(うち男性19名)(受験者145名、合格者124名)
- ・入学試験
  - 推薦・社会人(第67回生)入学試験 平成30年10月28日
  - 一般(第67回生)入学試験 平成30年12月 9日
  - 第二回一般(第67回生)入学試験 平成31年 1月12日
  - 第三回一般(第67回生)入学試験 平成31年 2月10日
  - 第四回一般(第67回生)入学試験 平成31年 3月10日
  - 第五回一般(第67回生)入学試験 平成31年 3月23日
- ・戴帽式(第66回生) 平成30年11月 7日(1年生112名)
- ・2年生卒業記念講演会  
期 日 平成31年2月26日  
テーマ 「今、私たち看護職に求められるもの」
- ・第65回生卒業式(卒業証書授与87名) 平成31年 3月 6日
- ・熊本県准看護師資格試験 平成31年 2月15日  
合格発表 平成31年 3月13日  
准看護科 第65回生87名受験 全員合格 合格率100%

ウ その他3学科合同行事

- ・ナイチンゲール生誕祭 平成30年 4月27日
- ・学校説明会(高校の先生方への説明会) 平成30年 8月 1日
- ・オープンキャンパス 平成30年 8月 4日  
参加者228名(男性18名)
- ・スポーツ大会(場所 パークドーム) 平成30年11月22日

[継続事業5] 社会保障制度の適切な運営事業

国民の健康で文化的な生活を目的とする社会保障制度は、行政のみならずその実践に深く係わる者の周知や理解なくしては成り立たない。制度のなかで大きなウエイトを占めるのが医療関連制度であり、行政と連携協力のうえに社会保障制度の円滑かつ適正な運営を図ることを目的に制度の説明会等を実施している。

・行政通知等の広報(単独通知分)

熊本県より 「熊本県子ども医療電話相談事業」

熊本市より 「障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する周知について」他9件  
九州厚生局より 「酸素の購入価格に関する届出について」

・各種説明会等の実施

- ア 働き方改革に関する説明会 平成30年9月19日(火)開催 出席者116名
- イ 麻薬等取扱者講習会 平成30年11月1日(木)開催 出席者150名
- ウ 在宅医療研修会 熊本在宅ドクターネットと共催  
平成31年2月8日(金)開催 出席者91名
- エ 熊本市介護保険主治医研修会 平成31年2月19日(火)開催 出席者48名
- オ 予防接種説明会 熊本市と共催 平成31年3月14日(木)開催  
出席者438名 医療機関260機関



[特定寄附] 医学教育の向上及び地域医療の充実に資するための寄附

医学教育の向上及び地域医療の充実に資するために、熊本大学医学部への寄附を実施。

[他事業1] 地域医療の支援、発展に関する紹介型開放型病院の運営事業

地域の医療機関からの重症患者を受入れ、必要な医療を提供した後、元の医療機関に戻すことによる医療機関相互の機能分担と連携を可能なものとし、地域医療全体の質を向上させるために、地域医療の中核となる熊本地域医療センターを、地域のかかりつけの医師、医療機関（特に診療所）の後方支援病院として開設した。熊本地域医療センターは地域の医師に開放された病院であり、地域の診療所で治療が難しい患者に対し、診療所からの紹介によって治療を行うことを主業務とする病院で、地域の医師が患者に良質の医療を行うための基盤となっており、当法人が地域医療のネットワークを形成するために開設している臨床検査センターやヘルスケアセンター（健診施設）、在宅ケアセンター（訪問看護・介護）とともにあって地域医療の質を向上させている。

入院患者数 5,983名、入院延日数62,884日、在院日数月平均9.2日

紹介率：月平均95.2%

手術数 823件 うち185件が緊急手術、会員執刀66件

共同指導件数 284件、共同指導回数 619回

外来患者数 65,051名（平日日勤帯外来患者数35,081名、休日夜間帯外来患者数29,970名）

各種検査 内視鏡検査6,460件（治療内視鏡1,105件）、MRI検査3,856件、CT検査9,188件、超音波6,980件、心カテ68件

[他事業2] 社会福祉の増進に関する在宅ケアセンター運営事業

高齢化社会の到来で、在宅医療の充実とともに保健福祉の向上は避けては通れないものであり、地域における包括医療提供体制を構築して社会福祉の増進、特に高齢者の福祉の増進を図ることを目的として在宅ケアセンターを開設し、次の事業を行っている。

1) 訪問看護ステーション

病気や障害をもって在宅医療する方に対して、専門的知識、技術、判断をもって病気や障害の改善に努め、より良い状態で安全に充実した生活が送れるようあらゆる在宅療養支援することを目的としている。

延べ369件の医療機関からの指示を受け623名に訪問看護を行った。

医療保険利用者175名、介護保険利用者448名

医療保険による訪問回数 2,055回、介護保険での訪問回数2,120回

計4,175回

2) 訪問介護ステーション

利用者の自立支援として身体介護サービス、家事援助サービス、生活・身上・介護に関する相談助言等を行っている。

1,180名に対し、8,673回の訪問介護を行った。

介護サービス利用者516名、介護予防サービス利用者623名、その他利用者41名

訪問回数内訳：総合事業4,222回、生活援助2,589回、身体介護380回、

身体・生活1,303回、その他179回

3) 居宅介護支援事業所

介護保険に関する各種申請代行、ケアプラン作成、サービス事業所の紹介・調整やその他介護保険に関する相談を行っている。

平成30年度 要介護1以上のケアプラン作成対象者 延べ1,137名

(16)

4) 地域包括支援センター

地域での高齢者の包括ケアを機能させるため、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士を配置し、地域での各種サービスや地域ネットワークの構築などを柱に個別サービスのコーディネートを行っている。

平成30年度 ケアプラン作成者延べ4,450名、相談件数2,901件  
家族介護教室 70回開催

[他事業3] 臨床検体検査を業とする検査センター運営事業

臨床検体検査は、診断・治療の用に供する診療の根幹をなすものであり、精度の高い正確な検査データを迅速に供給することが求められ、また、迅速検査は、患者中心の医療や患者サービスの向上が言われる今日、患者にも大きな恩恵がある。これら地域の医師の負託に応え、地域の医療の水準を高めて地域医療の質を向上させることを目的として検査センターを開設し、地域の医療機関からの依頼による臨床検体検査を実施している。

取扱検体数 年間 1,598,817検体 検査項目数 年間 7,880,755項目

[他事業4] 会員相互扶助事業

1) 代行業務

地域住民の健康の保持と増進を目的とする公衆衛生事業等の事務処理を効率的、効果的に行うため、熊本市と熊本市医師会で委託契約している予防接種及び健診について、実施登録医療機関から提出された報告書・予診票及び受診券すべてを取り纏めて、市への実施医療機関の請求や市からの実施医療機関への料金支払いの対応等を一括代行している。

2) 会員所属地区部への補助金、同好会への補助金等

ア 熊本市医師会は、東1、東2、中、西、南、北1、北2部の地区部と勤務医部の8部に区分し、会務の連絡を図るため、会員数に応じて補助金を助成している。

イ 熊本市医師会では、会員3名以上で結成される同好グループで規定を満たすものを趣味同好会として認可し、補助金を助成している。

剣道部、登ろう会、肥後狂句（杏風会）、ゴルフ会、ワイン同好会、古典音楽同好会

[他事業5] その他の収益事業

1) 事務受託事業

本会外郭団体への一部業務支援

2) 生命保険事務受託事業

3) 駐車場運営事業

4) テレビカード販売手数料

5) 医師会病院の売店・レストランの賃借料

6) 自動販売機設置手数料

2. 重要な契約に関する事項

なし

### 3. 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

毎月原則第2、第4水曜日（5月は決算の関係で第3・第5水曜、3月は予算の関係で第1・第4水曜）に午後7時から熊本市医師会館会議室他で24回開催。

各理事が担当業務・事業状況を報告し、当法人への入会等重要な案件は担当理事の提案に基づき協議・決定している。尚、検討時間を要する内容のものについては、理事会の企画検討事項として採り上げ協議している。

##### ・主な企画検討事項

- ①九州首市医師会「災害時における相互支援に関する協定書」に基づく訓練実施計画について
- ②地域在宅医療サポートセンターの設置について
- ③医師会病院建設について
- ④「三町との懇談会」開催の事前協議について

#### (2) 代議員会

##### ・第14回臨時代議員会（通算第261回）

日 時 平成30年4月5日（金）午後7時

場 所 熊本市医師会館 2階研修室

報 告

- ①熊本地域医療センター医師会病院の建替えについて（現状報告）

提出議案

- ①平成30年度一般社団法人熊本市医師会会費免除申請に関し承認を求むるの件
  - ②平成30年度一般社団法人熊本市医師会会費の賦課及び徴収に関し承認を求むるの件
- ※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

選挙

- |              |     |
|--------------|-----|
| ①熊本市医師会会長    | 1名  |
| ②熊本市医師会副会長   | 3名  |
| ③熊本市医師会理事    | 16名 |
| ④熊本市医師会監事    | 3名  |
| ⑤熊本市医師会裁定委員  | 7名  |
| ⑥熊本県医師会代議員   | 8名  |
| ⑦熊本県医師会予備代議員 | 10名 |

※上記のとおり役員候補者が選任された。

##### ・第15回定例代議員会（通算第262回）

日 時 平成30年6月21日（木）午後7時

場 所 熊本市医師会館 2階研修室

報 告

- ①平成29年度一般社団法人熊本市医師会事業報告
  - ②平成30年度一般社団法人熊本市医師会事業計画及び予算
- 提出議案

- ①平成29年度一般社団法人熊本市医師会財務諸表に関し承認を求むるの件
- ②一般社団法人熊本市医師会理事及び監事の選任に関する件
- ③一般社団法人熊本市医師会会長及び副会長の選任に関する件
- ④一般社団法人熊本市医師会裁定委員7名の選任に関する件
- ⑤一般社団法人熊本市医師会顧問の推戴に関する件

⑥一般社団法人熊本市医師会災害基金委員(7名)、定款改正委員(8名)、予算委員(16名)、建設委員(8名)の選出に関する件

※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

・第16回臨時時代議員会(通算第263回)

日 時 平成30年10月17日(水)午後7時

場 所 熊本市医師会館 2階研修室

報 告

①病院建設について

提出議案

①土地取得に関し承認を求むるの件

②災害被災者援護基金規約の一部改訂及び特定災害基金運用規程(案)に関し、承認を求むるの件

※以上提出議案は、審議の結果原案通り承認された。

(3) 会員懇談会

日 時 平成30年8月4日(土)午後5時30分

場 所 ホテル日航熊本

報 告

①平成29年度事業報告

②平成29年度財務諸表

・熊本市医師会財務諸表

・熊本市医師会看護専門学校財務諸表

(医療専門課程第1看護学科、医療専門課程第2看護学科、医療高等課程准看護科)

・熊本市医師会検査センター財務諸表

・熊本市医師会医師会病院財務諸表

・熊本市医師会ヘルスケアセンター財務諸表

・熊本市医師会在宅ケアセンター財務諸表

(訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター)

③平成30年度事業計画

④平成30年度予算

・平成30年度会費賦課

・平成30年度会費及び特別会費の徴収

・熊本市医師会収支予算書

・熊本市医師会看護専門学校収支予算書

(医療専門課程第1看護学科、医療専門課程第2看護学科、医療高等課程准看護科)

・熊本市医師会検査センター収支予算書

・熊本市医師会検査センター設備投資計画

・熊本市医師会医師会病院収支予算書

・熊本市医師会医師会病院設備投資計画

・熊本市医師会ヘルスケアセンター収支予算書

・熊本市医師会ヘルスケアセンター設備投資計画

・熊本市医師会在宅ケアセンター収支予算書

(訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター)

(4) 会計監査

平成30年5月24日、25日の両日、平成29年度の会務及び会計について監事2名から監査を受けた。

4. 収支及び正味財産の状況推移

単位：百万円

事業年度	29年3月期	30年3月期	31年3月期
前期繰越収支差額	3,809	3,671	3,662
当期収入合計	7,695	7,768	8,223
当期支出合計	7,833	7,777	7,638
当期収支差額	△138	△9	585
次期繰越収支差額	3,671	3,662	4,247
資産合計	12,437	12,150	12,704
負債合計	3,808	3,627	3,684
正味財産	8,629	8,523	9,020

Ⅲ. 株式保有の概要

熊本シティエフエム株式 90万円

熊本県医師信用組合 5万円